



# ほほえみ

2022.7.1  
(令和4年7月1日)

## 第194号

大竹市社協だより・大竹市民児協だより合併号

今号からどこかにやさおが登場するよ!  
「やさおをさがせ!!」  
何人いるかな?みんな探してね♪

### 夏だ!暑さにもコロナにも負けないぞ!

### じゃ〜んぷ

晴海臨海公園の大型遊具(ロボファクトリー)そばに新しくできた水広場にて

### ふれあいネットワーク

愛ちゃんと希望くん



この広報紙は共同募金(赤い羽根)配分金を受けて発行しています。

# 「優男(やさお)が ゆく」をYouTubeでみよう

大竹の人、まち、福祉の魅力をとり上げ発信していく社協番組「優男がゆく」は、ちゅピCOM 11チャンネルにて放送中です。

この度、パソコン、スマホからでも、YouTube「優男がゆく!」を視聴いただけるようになりました! 皆様、ぜひご覧ください。

## ◎視聴方法について

大竹市社会福祉協議会ホームページから入っていただくとスムーズにご覧いただけます。

※直接YouTubeにて「大竹市社会福祉協議会」と検索しても、ご覧いただくこともできます。



このマークが目印!!

ちゅピCOM(11ch)での放送時間(10分 1日3回放送)

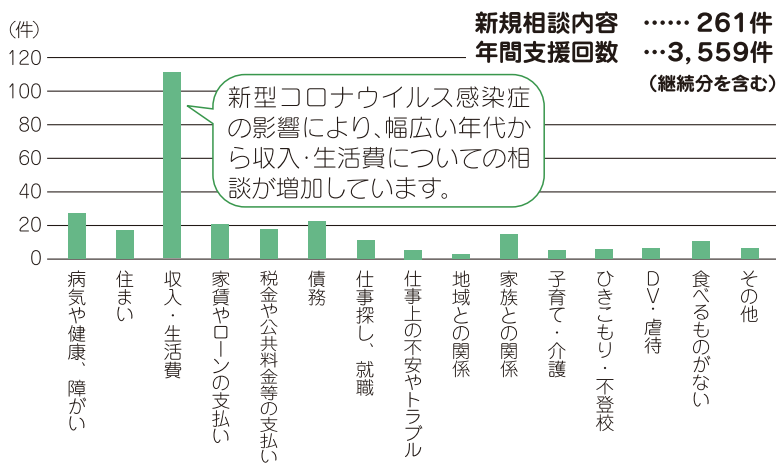
①8:30~ ②15:30~ ③21:30~

※隔週放送になりますので放送日、放送時間については新聞等でご確認ください。

## よりそいサポートセンターです! ひとりで悩まず、ご相談ください。

生活の不安や悩みごとを、ひとりで抱えていませんか。「どこに何を相談したらいいのか、わからない…」。  
よりそいサポートセンターでは、時間をかけてお話を伺いながら、一緒に課題を整理します。一つひとつの困りごとを解決するために、市の担当課や専門機関と連携しながら、相談者に寄り添った支援を行います。

### 令和3年度相談内容



1件あたり2~3つ以上課題を抱えている複合困難ケースが多くありました。このような場合は、解決までに長い期間を要するため、支援延べ回数は増加しています。

いつでも声をかけてください  
お待ちしております!!



【相談・問い合わせ】地域福祉課 よりそいサポートセンター  
TEL 35-5300 FAX 53-8122  
メール: yorisoi@otake-shakyo.or.jp

# こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。



暑い日が続くと、注意しなければいけないのが熱中症です。以下の点に注意して、元気に夏を乗り越えましょう。

## 1. マスクの使用について

熱中症予防のため、必要な時以外はマスクをはずし、場面に応じてマスクを使用してください。

屋内では、人との距離(2m以上を目安)が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

## 2. 暑さは避ける

涼しい服そう、日傘や帽子などで直射日光を避けましょう。

## 3. 喉が渇いていなくても、細かく水分補給を

## 4. エアコン使用中も換気は必要

エアコンは、空気を循環させるだけで換気はできません。窓とドアなど2か所を開け、扇風機なども活用し、換気をこまめに行いましょう。



### 新型コロナウイルス感染症対策



# 屋外でのマスク着用について

		距離が確保できる	距離が確保できない
会話をする	マスク必要なし		マスクを着用
	マスク必要なし		マスク必要なし
ほとんど会話をしない 行わない		公園での散歩やランニング、サイクリングなど	徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面

参考：健康や医療相談の情報 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

問い合わせ：大竹市地域包括支援センター TEL 53-1165

## 大竹市心身障害児・者 手をつなぐ育成会



### 知的・発達障害のある子どもを育てるQ&A

#### Q:「療育ってなあに?!!」

A. 療育とは、発達に遅れのある子どもに対して「医療」と「保育・教育」の両方の観点から食事や着替え、トイレなどの生活スキル、運動、言語、理解などについて支援を行うことです。

公的な療育は

- ①小学校に上がるまでの幼児期が児童発達支援(児童発達支援には「親子教室」もあります。)
- ②小学校から原則18歳まで放課後等デイサービスを利用できる場合があります。

◎幼児期には身近な人との関わりが深くなり、周囲の物などへの興味・関心の対象が広がり始めます。その時期にできるだけ早く適切な支援、教育を受けることで、社会生活に適応しやすくなります。

遊びなどを通して、体・頭・心を使う経験をしながら、人と関わる基本的な生活習慣を身につけられるように小集団活動をしていきます。

◎子どもとの、より良い関わり方を学ぶ時間、職員への相談、親同士の交流・情報交換もできます。

◎公的な療育以外にも障害者団体や民間が運営している児童向けの体操、音楽療法、言語教室もあります。

ただしこれらは実費負担になることがあります。

利用のことについて等、詳しく知りたい方は、市の相談窓口、相談支援事業所に相談してみてください。

いずれにしても療育の内容が子どもの実態に合ったものや費用に見合う効果が期待できるか、十分に検討して利用しましょう。

☆頑張りすぎないでください。一番大切なことはあなたの笑顔です!☆



## 阿多田保育園

大竹市阿多田4003-9  
TEL 537-0062

今年度は園児2名で新学期を迎えました。人数が減り、さみしくなりましたが、それでも、子どもたちは元気いっぱい!!  
サクランボの収穫や公園へ虫とり。春の自然にふれあい、新しい発見に心を弾ませる子どもたちの目はキラキラ輝いています。

# ヒアリング ループ

をご存知ですか

※ヒアリング ループとは、「聞こえ」に不安がある人の「聞こえ」を助ける装置です。

※ループアンテナを設置すると、アンテナ内では鮮明に音を聞き取ることができるようになり、明確な「聞こえ」で講演会などをお楽しみいただけます。また、会議や研修会などでも、ご利用いただけます。

※ヒアリング ループは移動型と設置型があります。

大竹市社会福祉協議会(サントピア大竹)には移動型のヒアリング ループがあります。

サントピア大竹では、館内で使用できるように貸し出しをしています。

利用を希望される方は、お申し出ください。

ヒアリング ループのマークが掲示している場所では補聴器・人工内耳を使用されている方には音声が見事に聞こえる装置が設置されています。

使用されている補聴器・人工内耳をTモード(Tコイル)に切り替えてください。

補聴器や人工内耳を使用されていない方でも、専用のレシーバーをヒアリング ループ設置時に貸し出しますので、お申し出ください。話をする人は、ヒアリング ループ専用マイクをご利用ください。

ヒアリング ループは、アゼリアおおたけサントピア大竹にあります。

## ヒアリング ループのマーク



問い合わせ先 地域福祉課 地域福祉係 TEL 52-2275

## 令和4年度 手話奉仕員養成講座 (入門編)

5月10日から9月20日までの毎週火曜日、全20回の講座が10名の受講生でスタートしました。

聴覚障害者とのコミュニケーション方法の一つである「手話」の技術を学び、手話でコミュニケーションができる活動者を養成することを目的としています。

### (受講の動機について・・・受講生のみなさんに聞いてみました)

- 災害時、避難所で地区の住民が避難生活をした場合、手話を必要とされる方がいた時に役立ちたいと思いました。
- 仕事で聴覚障害者の方と触れ合うことがあり、手話を学びたいと思いました。
- 定年退職後、手話を学び、人の役に立つボランティアができればと思い受講しました。
- 子どものころから手話を学ぶ機会がありました。子育てをする中で、子どもたちが習い事や勉強を頑張っているため私も負けないように、勉強しようと講座を受講することにしました。



自己紹介を  
しましょう。

指文字を  
覚えましょう。

問い合わせ:地域福祉課 地域福祉係 TEL 52-2275

# ◆ EM ボカシを使ってみよう！

生ゴミだけでは腐敗するだけですが、EM ボカシを混ぜることで、生ゴミを天然で良質な肥料に変えることができます！



ビニール袋に残飯と EM ボカシを混ぜて簡単に肥料を作ることができます。



EM ボカシ専用処理バケツ。生ゴミと EM ボカシを混ぜて、バケツ内で発酵させることで、液体状の肥料を作ることができます。

EM ボカシをまぜて作った良質な肥料で、家庭菜園をはじめませんか？



## ◆ EM ボカシのスゴイところ

- ① 生ゴミを活用できるので、生ゴミ削減につながる
  - ② EMボカシで作った肥料をまくと、野菜がすくすく育つし、味がおいしい！！
- などなどなど

世の中には不思議なこともあるもんですね～  
EM ボカシを使うと一石二十鳥のイイコトづくし！！



EM ボカシづくりの達人 河内さん

## 買える場所

「大竹市環境整備課」と、「ぷらっとほーむ」にて1kg200円で販売しています。

# 「ぷらっとほーむ」で まあってまーす



問い合わせ先 「ぷらっとほーむ」 TEL 57-3935  
大竹市御園二丁目11-15

# プロジェクト ～社協マンたちの挑戦～



## 「今!ぷらっとほーむがアツい! 優男もおすすめ 環境に優しいEMボカシ」



今回より、「社協のことをもっと知ってもらいたい!! 伝えたい!!」という思いから、社協を身近に感じてもらえるような取りくみを社協マンが取材します。第1回目は、ぷらっとほーむです。

ぷらっとほーむでは、昨年より EM ボカシづくりに、力を入れています。そこで今回「ぷらっとほーむでつくる EM ボカシ」についてみなさんに紹介します。

### ◆ EM ボカシとは?

EM 菌ともみ殻、ぬかを混ぜ合わせたものです。生ごみの削減を目的に使われています。

「ボカシ」の語源:

肥料を微生物によって発酵させて、原形を違う形にする(ぼかす)ことからボカシと呼ばれています。(話をぼかすと似た表現)

古くから:

EM ボカシのようなものは使われていたようです。(江戸時代の文献から)

### ◆ EM ボカシができるまで



①もみ殻とぬか(同量)を混ぜる



②ぬるま湯に糖蜜、EM 菌を混ぜる



③もみ殻、ぬかに②の液体を混ぜる  
(握って混ざり具合を確認する)



④密閉する 空気中の雑菌を遮断するため



⑤熟成したものを広げて乾燥。水気が感じられないくらいサラサラになれば完成

## サロン世話人のためのおしゃべりサロン

5月27日(金)サントピア大竹3階多目的ホールにて『第2回世話人のためのおしゃべりサロン』を開催しました。

今回は、「サロンの運営方法やサロン運営にあたってのお金のやりくり方法」をテーマに、三ツ石地区の中川美喜子さん、東栄地区の渡邊節子さんに話していただきました。

サロンの運営には大きく分けて3通りの方法があります。

①自治会費を活用し、運営している地域 ②助成金を利用している地域 ③参加者から参加費を集めている地域です。

2人には、サロンの運営方法やお金のやりくりのお話しに加えて、サロン活動の内容も話していただきました。

「三ツ石ホテル会サロン」では、参加者にお洒落な洋服とお化粧品でおめかしをする仮装大会を行っているそうです。高齢になると綺麗に身なりを整えることも減るため、頬紅をさすと若い頃を思い出しても楽しい明るい雰囲気になるそうです。

「東栄の菜の花会サロン」では、参加者の皆さんでお誕生日会を時折、開催するそうです。いくつになっても、お祝い事は喜んでいただけるので、世話人としてとても有難く、やりがいがあると語っていただきました。

その後、グループワークで、サロン内容の紹介や運営にあたって工夫している点など、ざっくばらんに



情報交換を行いました。皆さん真剣に他地区の情報に耳を傾けたり、自身の活動地区のサロンのお話をしたりと、今後の活動を続けていくにあたって何らかの得るものがあったのではないかと思います。

このように、サロン世話人のおしゃべり会を様々なテーマで定期的で開催しています。サロンに関して知りたいことがあればお気軽にお問合せください。

「サロン世話人のためのおしゃべりサロン」について詳しく知りたい方は、

地域福祉課 地域福祉係 TEL 52-2275



### 有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」協力員養成講座を開催します!

有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」とは、会員方式の有償ボランティア事業です。福祉サービスを必要としている方の日常生活(掃除・洗濯・話し相手等)をお手伝いしてみませんか?

日時: 令和4年7月19日(火) 13:30~15:00

対象者: 大竹市在住・在勤の方

場所: サントピア大竹 1階会議室

参加費: 無料

内容: ①有料在宅福祉サービスについて

申込期限: 7月15日(金)

②介護予防・生活予防支援総合事業について



申し込み先  
地域福祉課 地域福祉係 TEL: 52-2275



おおたけ ししゅう しやそうだん しえん  
大竹市障がい者相談支援センター

5月15日(日) サントピア大竹で大竹市心身障害児・者手をつなぐ育成会と共催で学習会を行いました。30名の参加があり、第46回広島県知的障害者福祉大会(一般大会)講演会のDVDを視聴しました。

内容は「ヒカリカナタ基金」竹内昌彦理事長が「私の歩んだ道～見えないから見えたもの」と題して自身の幼いころから今を通して、見えない方の生活、社会との関わり、親子の情愛などが、幅広く語られていました。

参加者からは、

- 「色々な情報を得ることができた」
- 「楽しい話やご苦労された話が聴けた」
- 「強く生きることについて考えさせられた」

など、皆さんの心に響いたようです。

視聴後、本人部会「NAKAMA会」沖田信之代表が感謝の言葉を述べ、学習会は終了しました。

なお、このDVDの視聴を希望される方は、貸し出しすることができますので、大竹市障がい者相談支援センターまでご連絡ください。



地域福祉課

大竹市障がい者相談支援センター TEL: 52-0167  
FAX: 53-8122 メール: soudan@otake-shakyo.or.jp

## 大竹市社協での現場実習をとおして

大竹市社協にて実習をされた広島文教大学学生さんに、実習をとおして感じたことについてお話を聞きました。

### 「つながり」からうまれる安心

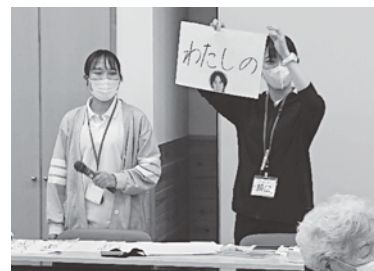
私はこの実習を通して人と人の繋がり的重要性を体感しました。「ぷらっとほーむ」やサロンの活動に参加させていただいた際に、たくさんの笑顔や楽しい雰囲気を感じました。それは、地域の方が信頼関係を築きながらできるのだと気づきました。

また、社協は繋がりのおかげとして、地域住民の可能性を広げる大きな役割を担っていると学びました。このように、人と人が繋がり、その場にいる方が楽しい場所にするのだと、地域の方に教えていただきました。

今後は、人と人が繋がる大切さを伝えられる技術を身につけていきたいと思えます。

この実習に関わってくださった皆さんのおかげで充実した時間を過ごせました。本当にありがとうございました。

広島文教大学 竹本 瑞季



### あたたかな地域コミュニティにふれて

緊張と不安で始まった実習でしたが、実際に現場へ出なければ知ることのできない地域福祉を間近で見聞きすることができ、勉強になりました。

印象に残っているのはサロン活動への参加です。いきいき百歳体操をしたり、一緒にビンゴやクラフトを楽しませて頂きました。参加されていた方の優しい笑顔が心に残っておりますし、サロンでの活動が、高齢者の方にとって生きがいになっているのだと実感することができました。



また、「頑張ってるね」と声かけも頂き、大変嬉しく、励みになりました。実習をとおして、人とのつながりや、支え合うことの大切さを再発見でき、机上では学ぶことのできない知識を多く得て、貴重な経験となりました。温かく見守ってください、ありがとうございました。

広島文教大学 絹田 莉子

### あたたかいご寄付 ありがとうございます

令和4年4月1日から  
令和4年5月31日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

ここに、芳名を掲載させていただきますとともに、謹んで厚くお礼申し上げます。(敬称略)

※金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

#### ◆香典返しにかえて

金一封 母 純子 村本龍哉 本町二

〃 義母 蓉子 野田和子 南栄二

〃 夫 敦 一階堂和美 元町二

〃 母 出三幸 弘兼秀子 油見二

〃 夫 敏嗣 峰本節枝 白石二

〃 匿名 小田上照子 南栄二

〃 夫 義勝 南栄二

#### ◆一般寄付

金一封 匿名

ウクライナ難民支援のため

〃 匿名

〃 匿名

2万円 (株)ユニマットプレシヤス

広島西カントリー倶楽部

チャリティーゴルフ収益金の一部として



#### ◆さつき・アイビー作業所指定寄付として

2万円 願徳寺仏教婦人会

金一封 匿名

《合計金額 13件 36万8千円》

#### 今号の「やさおをさがせ」の答え

5人でした。

## ヘルパー実技講習会開催

私たちと一緒にヘルパーとして働いてみませんか？

資格を持っているけど、ヘルパーとして働くには不安だなと思っている方。ぜひこの機会に現場復帰してみませんか。

実施場所：大竹市総合福祉センター「サントピア大竹」  
大竹市西栄二丁目4-1

対象者：大竹近郊在住の有資格者  
(ホームヘルパー2級、介護職員初任者研修等)

定員：5名

講義内容

月日	内 容
7月19日～25日の間で2日間	生活支援の内容 ～訪問介護サービスのグレーゾーン～ 身体介護の内容 ～体の向きを腕1本で変えてみよう～

※いずれも 10:00～18:00の間で2時間程度

講 師：大竹市社協訪問介護事業所 職員

受講料：無料

申し込み：7月11日(月)までに、  
大竹市社協訪問介護事業所に申込み。

TEL 52-2227 担当：和田

### 学 習 会

事業名	と き	時 間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～20時30分
手話「ママとかめの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～12時00分
手話「ぼぼんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～12時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分～9時30分～11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～15時00分

### 定 例 的 な 事 業

事業名	と き	時 間	内 容
子育てサロン「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～12時00分	親子同士がふれあう憩いの場です。
認知症の人との集い「やすらぎの家」	毎週水曜日	10時00分～15時00分	認知症の人が集う憩いの場です。
ソーシャルクラブ「青空」	毎月一回	10時00分～14時00分	心の病気をもちの方が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月第4木曜日	10時00分～14時00分	精神障がいをお持ちの方が楽しく集える場所です。
ひきこもり支援	毎月第4火曜日	10時00分～11時30分	ひきこもりの方が過ごす場、家族同士のふれあいの場です。
つどいの広場	毎月一回	16時00分～20時00分	小中高生が対象のつどい場です。夕食の提供があります。

### 相 談 窓 口

事業名	と き	時 間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日(祝日休み)	13時00分～16時00分
よりそいサポートセンター	月～金(祝日休み)	9時00分～17時00分
障がい者相談支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分
地域包括支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分

申込み・問い合わせはいつでも **大竹市社会福祉協議会** TEL 52-2211 FAX 53-8122

編集発行：大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内)  
メールアドレス (info@otake-shakyo.or.jp) ホームページ (http://www.otake-shakyo.or.jp/)



# 民児協だより

## 第50号

大竹市民生委員児童委員協議会

大竹市西栄2丁目4-1  
TEL 52-2235

### 令和4年度大竹市民児協定期総会

5月12日(木)アゼリアおおたけに於いて、令和4年度大竹市民児協定期総会を3年ぶりに、委員60名が出席して行うことができました。

私たち民生委員・児童委員には、地域住民の一人として住民に寄り添い、住民の声に早く気づき、適切な支援につなぐことが期待されています。

大竹市民児協においては、引き続き、「誰もが笑顔で安心して暮らせる地域づくり」に向けて、広島県民児協をはじめ、大竹市、大竹市社協と緊密な連携に努め、大竹市の特性を踏まえた取り組みをより一層推進したいと思います。



### 民生委員・児童委員の日

大正6年5月12日、現在の民生委員の源とされる制度が発足したことから、毎年5月12日は「民生委員・児童委員の日」とされ、その日から1週間は、地域の皆さんに民生委員・児童委員を身近に感じていただくための活動が全国各地で行われています。

大竹市では、以下のとおり、小・中学校の正門前で登校時あいさつ活動を行いました。

○5月13日

大竹小・中学校前および

玖波小・中学校前

○5月11日～13日

小方学園前



大竹小学校



玖波小学校



小方学園

## 主任児童委員視察研修(広島学園)

広島県東広島市の、自然豊かで広大な敷地の中にある、児童自立支援施設を知っていますか？それは広島県立広島学園で、問題行動などにより家庭や学校などで適応困難な18歳未満の児童が入園し、規則正しい集団生活をおとして、健全なる社会の一員として自立できるよう、支援することを目的とした児童施設です。

日本全国各都道府県に58か所設置され、広島県で唯一の広島県立広島学園が、東広島市八本松町にあります。

施設創設は明治32年で、平成27年度から、新校舎の完成とともに東広島市立もみじ小学校・もみじ中学校が園内に開校されました。施設定員70名、完全寮生活で、学業は学校が担当し、寮での日常生活は学園が、互いに連携して指導を行っています。

令和3年度の主任児童委員視察研修は、令和4年3月14日(月)に広島学園を、主任児童委員5名と事務局で、視察させていただきました。コロナ禍で、視察研修が難しい中、受け入れをさせていただきました、感謝しています。

新校舎の学園は、鉄筋コンクリートとガラスによって作られ、中庭が開放感のある明るくて、優しさを感じる建

物です。

主任児童委員に

なり、視察研修等で近隣の子どもに関係のある、様々な施設に行く機会が増えました。今回の児童自立支援施設は、児童養護施設や少年院とは違い、かつて「教護院」とも呼ばれ、問題行動をする恐れのある子どもたちが入所し、自立を目指す施設です。子どもたちが温かく細やかな環境の下で学習している姿を見ることができました。

今回とても感じたことは、施設はもちろん、サポートする職員や先生方の手厚さです。少子化で出生率が下がり続けている日本で、少ない子どもたちを、いかに大切に育てているか、目の当たりにしました。



## 『ごんにちは赤ちゃん訪問』

平成20年度から子育て支援の一環で、「ごんにちは赤ちゃん訪問事業」がスタートしました。

この事業は、担当地区の主任児童委員と民生委員・児童委員が生後三、四カ月の赤ちゃん宅を訪問し、大竹市の子育て情報を提供するというものです。

今年度もコロナ禍で訪問活動に制限はあるものの、少しずつ訪問を希望される方が増えてきました。検温、マスクの着用、距離を取りながらの説明など感染対策を行いながらお話をさせていただきました。



今回は南栄三丁目の尾越絵さん、加奈絵さんご夫婦宅を訪問させていただきました。お二人目のお子さんとなる冬花ちゃんは終始笑顔を見せてくれました。お母さんとても落ち着いて穏やかに育児されています。また、お近くにはおばあちゃんもおられ、日常的に温かな見守りもあるようです。

どんなお子さんになって欲しいですかという問いに、「明るい子に育って欲しい」と話してくださいました。

このコロナ禍が一刻も早く収束し、ご家族の日常が取り戻せるよう願うばかりです。

